

厳浩会長が日本中華總商会迎春会で新年挨拶：二十不悔

1月21日昼、一般社団法人日本中華總商会(以下:總商会)が主催する2019年年頭祝賀「迎春会」が帝国ホテルで行われ、在日華僑・華人企業家を代表して中国大使館、日本政府、経済界、友好団体などの貴賓を招待し交流を行い、共に新春を祝いました。

厳浩会長は過去一年間總商会が提供した会員サービス、中国及び海外華僑・華人、そして日本経済界との交流活動を総括し、長期に亘り總商会にご支援ご協力をくださった各界の皆様へ感謝を申し上げます。また、来る總商会創立20周年を迎え、“二十不悔”^{i*}の古訓に因んで、今年も創会の宗旨を守り、引継ぎ挑戦していく決意を披露しました。

在日本中国大使館郭燕公使、詹孔朝総領事、日本経済産業省通商政策局東北アジア課小林浩史課長、外務省アジア大洋州局中国・モンゴル第二課黒石亮首席事務官、ならびに日本商工会議所、日本経済団体連合会、経済同友会、日中経済協会、日本国際貿易促進協会、在日中国企業協会などの政治・経済団体、在日華僑・華人団体の代表および日本中華總商会会員約220人が出席されました。



祝辞を述べる日本中華總商会厳浩会長

日本中華總商会は在日最大の華僑・華人経済団体であり、在日華僑・華人企業同士の協力および中国資本企業ならびに日本企業との交流の促進、世界各地の華人組織との提携により、会員企業および地域経済の発展に貢献することを目的としています。迎春会は日本政治経済社会など各界との交流のために、總商会が毎年開催する恒例行事です。



ご多幸を祈願して行われた鏡開き



迎春会会場

益新集團広報渉外チーム

2019年1月22日

¹ 二十不悔：中国の古訓で、二十歳は成年になり、自らの意志をもち後悔せずに生きることを教えています。また、若くてたくさんの可能性を持つことから、様々なことにチャレンジせよとの意味もあります。